

求むInnovation Partners!!

# イブニング サロンNEWS

2010 7/30 第18号  
(年6回発行)

イブニングサロン公式サイト

<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行

イブニングサロンNEWS」を発行する会  
事務局・東方通信社  
TEL: 03-3518-8844



高屈折率の特性を持つ同社の光学ガラス

## (株)住田光学ガラス

日本は世界でも有数の光学機器生産国。その主要なパーツとなるのが光学ガラスである。光学ガラスは、カメラ・望遠鏡・顕微鏡などのレンズの材料に用いられており、極めて均質で透明度の高いガラスである。(株)住田光学ガラスは、かつて「ガラス素材といえば輸入品」とい

## 世界が実力を認める 光学ガラスのトップランナー

7月30日(金)、第27回目の「新都心イブニングサロン」が開催される。今回のテーマは「光産業」。精密、高度、信頼性が求められる分野だけに並外れた技術力が要求されるが、これこそ日本のお家芸といえる。昨今、長引く不況で元気がない日本経済を牽引してほしいものである。

# 世界に羽ばたく日本の光産業の オンリーワン技術が集合!!

うのが当たり前の時代に、光学ガラスの国産化を推しすすめ、高度な精密加工技術を確立した。近年では、DVDなどマルチメディア製品の心臓部などにも同社の光学ガラスが利用されている。

同社は1960年代から独自のガラスファイバー技術を追究し、いち早く原材料から最終製品までの一貫生産体制を確立。そのおかげで医療、通信、計測、照明などさまざまな分野に事業を拡大した。

その技術力とはもはや世界レベルに達しており、97年と03年に中小企業優秀新技術・新製品賞を受賞。97年と02年には米フォトニクス・スペクトラ誌主催の「ベスト25優秀製品賞」を受賞。06年には経済産業省・中小企業庁が刊行した「元気なモノ作り中小企業300社」に選定された。

さらに04年には天皇陛下の行幸を賜っており、骨太な力の一端を垣間見ることが出来る。



同社が受賞してきた数々のトロフィー

今後も、日本屈指の光学ガラスメーカーとして目覚ましい躍進を遂げてほしいものだ。

T 3300-8565

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷  
4-7-25

TEL 048-832-3165

<http://www.sumita-opt.co.jp/ja/>

# 高い技術を誇る「光学薄膜」の気鋭

## (株)オプトラン

光通信、ディスプレイ、光学デバイスなどの応用分野で、今後の発展が期待されているのが「光学薄膜」だ。光学薄膜は、光を扱う光学部品に不可欠な技術で、情報機器や情報家電、情報通信インフラ（光ファイバー）などに利用されている。この光学薄膜の数少ないソリューション企業がオプトランである。

同社の孫大雄社長は、中国出身で、埼玉大学大学院電気工学科修士課程を終了後、大手メーカーを経て、99年に起業した。スタッフは日本人だけでなく国際色豊かな社風が特徴。超多層膜を安定生産するための複合技術「オプトナノテクノロジー」を中心に事業を展開し、急成長している。



社長の孫大雄氏

これまで同社は「第16回中小企業優秀新技術・新製品賞」（04年）を受賞し、社長の孫大雄氏も「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパン2003」スタートアップ部門のファイナリストに選ばれるなど、高い実績を証明してきた。

本年度からは赤外線フィルタに特化した薄膜形成装置「OTFC-IR1」をリリース。さらに中国市場で高まるニーズに対応するため、生産が主だった「上海オプトラン」内に新たに営業部門を設立することになった。今後どういった進化をするのか目が離せない。



同社の光学薄膜形成装置

〒350-0801  
埼玉県川越市竹野10-1  
TEL049-236-3381  
<http://www.optoran.co.jp/>

# オリジナル技術で高いシニアを確保!!

## 岡本硝子(株)

岡本硝子は、光・ガラス分野における研究開発を行う特殊ガラス製品メーカー。ガラスの高付加価値化に取組み、時代のニーズを捉えたヒット商品を相次いで生み出してきた。

とくに耐熱・熱衝撃に優れた「耐熱性ガラス」や特定の光を透過・反射させることができる「光学フィルター」などのオリジナル技術は、国内外の大企業にも引けをとらない。なかでも歯医者の手元を照らしながらもカゲを作らない「デンタルミラー」やプロジェクターの光源用反射鏡として用いられる「コールドミラー」などは、大きなシェアを誇っている。

さらに同社は(株)オハラと共同で太陽光発電用ガラス集光レンズを開発するなど環境問題にも積極的に取り組んでいる。本年度の3月には、太陽光発電システム関連の技術が一堂に会する「PV EXPO2010第3回国際太陽電池展」にて、ガラス製集光型太陽光レンズを出展し話題になった。「特殊ガラスと薄膜で光を科学する」と意気込む同社は、まさに「光の時代」をリードする存在。不況で苦しむ日本経済も照らしてほしいものだ。

千葉県柏市十余-380番地  
TEL04-7137-3111  
<http://www.ogc-jp.com/>



プロジェクター用反射鏡



光学部品も高い実績を持つ

# プリズム加工は世界一 弘前が誇る元気企業!!

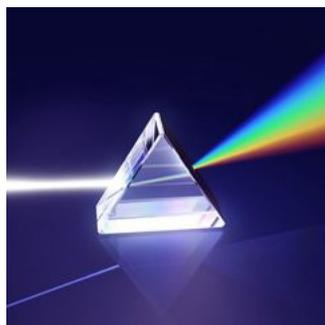
## (株)テクニカル

天体望遠鏡で天頂付近の天体を見るとき、真上の天体をそのまま眺めると姿勢が辛くなる。そこでプリズムを使って光路を90度に曲げることが考案された。これにより水平方向でも楽に天体を観測できるようになったのである。今ではプリズムは天文分野だけでなく、顕微鏡やデジタルカメラにも使われており、光産業には必要不可欠なものになっている。

このプリズムの試作品を国内で唯一製造しているのが(株)テクニカルだ。微小プリズムから大型平面基板まで多種多様なプリズム加工を手がけており、試作品1個からでも受け付けている。「不可能と思われる製品でも独自のノウハウと加工技術で解決します。プリズムの試作オーダーメイドについてはまずはお話ししてほしい」という。技術への自信は並々ならぬものを感じている。ちなみに相談だけなら料金は不要とのこと。

今では家電機器メーカーや金属業界などからも相談があり、月400〜500種類の試作品を製作しているという。

プリズム加工は機械で行うが、職人としてのワザも要求される。



世界一ともいわれる超高精度プリズム技術が特徴

そのため、人材育成には積極的だ。なんと社長みずからが、若い技術者たちを直接指導しているという。

06年には「全国の元気なモノ作り中小企業300社」にも選ばれた同社。弘前から世界に羽ばたく元気企業なのである。

〒036-8061  
青森県弘前市神田5-2-1  
TEL0172-39-2525  
<http://www.technical-prisms.com/>

## 日本ベンチャー学会

97年に設立された日本ベンチャー学会は、日本のベンチャー企業を牽引してきたパイオニア的存在。「動くベンチャー学会」をスローガンに掲げ、非常にアクティブな活動で知られる。日本で「ベンチャー・ビジネス」という言葉・概念をはじめて提唱した清成忠男氏(法政大学学事顧問・名誉教授)が特別顧問を務めている。

学会には、大学の研究者、起業家、ベンチャーキャピタリスト、企業内ベンチャー、公認会計士、弁護士、弁理士など、多分野からさまざまなエキスパートが参加しており、豊富なノウハウや人脈によって、日本のベンチャー創出・育成に活力を与えている。

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-14-9  
早稲田大学シルマンホール9階 902号  
TEL:03-5286-1722

The Japan Academic Society for Ventures and Entrepreneurs (JASVE) website content:

- 1. 日本ベンチャー学会の目的**  
本学会は、ベンチャー企業および一般企業における企業家活動等について、理論・実証・実例に関する研究を行うとともに、産学協同の推進および企業家活動の支援に寄与することを目的とします。
- 2. 役員**  
当学会の役員は別ページの通りです。
- 3. 会員の種類**
  - (1) 正会員: 上記の目的に寄与できる方で、正会員1名の推薦を受けた個人
  - (2) 学生会員: ベンチャーに関する研究あり、または活動を行っている大学院生 および大学生
  - (3) 法人会員: ベンチャーに関する研究あり、または活動に関心のある法人
  - (4) 特別賛助会員: 本会の目的に賛同し、事業を賛助する法人、団体、または個人(法人会員は2名、特別賛助会員は3名まで、部会、セミナー等に参加できます。また、特別賛助会員は、公式スポンサーとして、シフレットなどに記載させていただきます。)

<http://www.venture-ac.ne.jp/>

# 野長瀬教授「モノづくり通信簿」に「サイトウ製作所」が登場(コロンブス7月号)

サイトウ製作所は数多くの微細ドリルの製造・販売を行っているニッチトップ企業だ。「ATOMブランド」として業界では有名で、とりわけ微細ドリルは、全部で6000アイテムにも上り、100分の3ミリの6ミリのまでのサイズに対応しているという。「先代で父の齋藤裕は根っからの職人で、とにかくいろんな大きさ、タイプの微細ドリルをつくりつづけてきた」と齋藤智義社長は話す。女性の髪の毛の平均が100分の6ミリのと、いわれているから、同社の



「モノづくり」通信簿をつける野長瀬教授

微細ドリルを使用すれば髪の毛に穴を開けることだって夢ではないのだ。この多品種少量生産が同社の最大の強みとなっているが「多品種少量生産ではあまり利幅がないため、ほとんど大手が参入することがない。その上、一年に数本しか出ないようなモノでも確実にこなしてきた。それが当社の強みになっている。コソコソ」と。とはいえ、微細ドリルを開発した当初は、なかなかマーケットをつくることができなかったという。「当時はまだ微細加工が必要な製品がなかったため、販路を拡大することができなかった。しかし、機械や家電の小型化がすすむのと同じに、ニーズがドンドン増えてきた。現在は半導体製造装置や化学繊維用のノズルの

穴開けなどに使用されているケースが多いようだ」と齋藤社長。創業したのは1934年、創業当初は金切鋸刃の製造販売を行っていたという。その後、セイコーの精密超硬バイトを受注するようになり、経営基盤を固めていった。「当時からヨーロッパの製品に匹敵する品質を目指しつづけたことで、モノづくりの精度を高めることができたのだと思う。実際、父はスイスなどに仕掛けて行っては、最新の工作機械を仕入れてきた。そして、それを使いこなすことで、微細で耐久性にすぐれたバイトやドリルの開発を手がけていった。まさに当社は父たちが培ってきた技術の上に成り立っている」と。

しかし「これからは経営スタイルを大きく変えていく必要がある」と齋藤社長は意気込む。新社長のもとで、日本のニッチトップ企業から世界のニッチトップへと躍進を遂げてほしいものである。



齋藤智義社長

(株)サイトウ製作所  
〒174-0052  
東京都板橋区蓮沼町  
8-6  
TEL03-3969-7606  
<http://www.atom21.co.jp/>

## サロン公式サイトで「ニュース」公開中

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」



は、新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第17号までアップしていますので、ご覧ください。

今後引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思っております。新商品や新技術の開発、ご意見・ご要望までふるってお寄せください。

★イブニングサロン公式サイト  
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

★東方通信社サイト  
<http://www.tohopress.com>  
問合せ：TEL03-3518-8844

e-mail：ryot@tohopress.com

## 月刊「コロンブス」が元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンブス』



(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元の元



気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員(06年2月号)など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。

問合せ TEL：03-3518-8844

## ★イブニングサロンの主な世話人

江田元之 元(財)さいたま市産業創造財団・理事長／星野弘志 元埼玉県労働商工部新産業育成課・課長／村重嘉文 (株)イーシティ埼玉・取締役会長／野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授／浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長

## ★主な企画運営委員

山田穎二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長／江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局長／古川猛 月刊『コロンブス』編集長(東方通信社)／根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長／柴田孝・米沢BNO副代表

## 「産業栽培度」

